日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀（樟山みき）活動報告

2024．3．21　NO．400

連絡先　荻窪５－１５－１９－７０４
☎ ０８０－５５３１－８２３６
区議会控室　☎ ３３１２－２１１１（内）２３１９

↑ホームページ

杉並区議会第１回定例会　閉会

岸本区長の新年度予算　賛成多数で可決

第１回定例会は３月18日に閉会しました。岸本区長が提案した新年度の一般会計予算は、賛成多数で可決されました。

賛成27人、反対16人、退席４人　共産党区議団は予算に賛成

日本共産党区議団は、震災対策の拡充や給食費無償化の継続と対象拡大、学校トイレの洋式化推進、高齢者の補聴器購入費助成の予算の倍増など、区民の命とくらしを守るための費用が多数盛り込まれたことを評価し賛成しました。

同時に、物価高騰対策の充実、家賃助成の早期実施、国保料の負担軽減に向けた取組など、積極的提案を行いました。

予算には、日本共産党のほか、立憲民主党、公明党など27人が賛成。自民・無所属は10人のうち４人が退席し６人が反対。無所属・都民ファーストなどと合わせ16人が反対しました。（表上）

■「令和6年度　杉並区一般会計予算」に対する各会派の賛否

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×6 退4	○	○	○	×	○3 議長1	○	○1 ×1	○	×	×	×	○	×	○	×

・【賛否】○／賛成、×／反対、退／退席。「自無」は１０名のうち４名が退席した。「れ耕」は賛成１人、反対１人と賛否が分かれた。「無維」は１名が議長の為、賛否は３名のみ表明。
・【会派の正式名称】自無／自民党・無所属杉並区議団、共産／日本共産党杉並区議団、立憲／立憲民主党杉並区議団、公明／杉並区議会公明党、無都／無所属・都民ファーストの会、維無／維新・無所属議員団、生ネ／区議会生活者ネットワーク、れ耕／れいわを耕す、安心／安心・安全杉並の会、参政／参政党杉並、革新／都政を革新する会、セン／杉並をセンタク致し候、緑グ／緑の党グリーンズジャパン、杉わ／杉並わくわく会議、共生／共に生きる杉並、無／無所属（堀部）

事実婚適用を求める陳情　採択
核兵器禁止条約への参加求める陳情　不採択

定例会最終日、区民生活委員会で「採択すべきもの」とされた陳情について、全員出席のもとで採決が行われました。（表下参照）

「杉並区パートナーシップ制度へ異性間の事実婚カップルも適用を求める陳情（表①）については、日本共産党、立憲民主党、公明党などの賛成多数で「採択」が決定。反対したのは、無所属・都民ファースト、参政党など。自民党は全員が退席しました。

杉並区議会が日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出することを要請する陳情（表②同趣旨２本）については、自民・無所属、公明党、無所属・都民ファーストなどの反対多数で、残念ながら「不採択」となりました。

■表2. 陳情に対する各会派の賛否
①杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情
②杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
①事実婚適用を求める陳情	全員退席	○	○	○	×	○3 議長1	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
②核禁止条約参加を求める陳情	×	○	○	×	×	×3 議長1	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

・【賛否】○／賛成、×／反対、退／退席。陳情①について「自無」は１０名全員が退席した。「無維」は１名が議長の為、賛否は３名のみ表明。【会派の正式名称】表１を参照のこと。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

国保料
大幅値上げ

区議会予算特別委員会
国と東京都は財政責任を果たせ

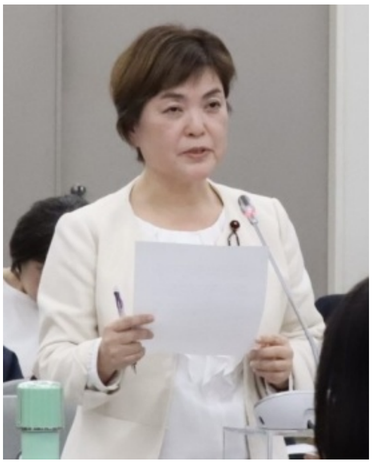
来年度の国民健康保険料を値上げする議案が提案され、予算特別委員会で質問に立ちました。

1人あたり1万3千円余の値上げ 過去最高の値上げ額

提案された保険料案は、ひとりあたり年額1万3848円値上げするもので、年間の保険料額は19万6019円となります。年収400万円の40代夫婦と子ども2人世帯の場合、年額保険料は61万4千円余。年収の15％を占めることになります。区は、今回の値上げ額は過去最高と答えました。

国、東京都を動かす取組を

値上げの要因は、国保加入者の減少や医療費の高度化、高齢化等に伴い、1人あたりの療養給付費が増加したことに加え、東京都の納付金算定方法の変更、国の激変緩和措置の終了によるものです。東京都は〝財政責任の責任主体として中心的な役割を担う〟とされながら、値上げ抑制のための財政投入を行わないだけでなく、国保運営方針の改定で、区市町村が行っている法定外繰入を、年度目標まで示して廃止を迫っていることは許せません。



共産党区議団は、区長会および杉並区が、負担軽減のために一定の努力を行ったことは評価するが、物価高騰のもと、過去最大の大幅値上げを被保険者に強いることは容認できないとして値上げ議案に反対。

国や都を動かすための取組のあり方を再検討すべきと求めました。

●改定の概要

	2023年度	2024年度	増額
1人当たり保険料	182,171円	196,019円	13,848円
均等割額	76,300円	82,100円	5,800円

西荻南区民集会所 早期に南側へ移転を！

西荻南区民集会所は、前区政のもとで強行された区民事務所の玉突き移転により、2022年７月から旧西荻北児童館に暫定移転となっています。区は、早期に西荻南地域に適地を確保し、集会施設の整備を図る、としていますが、土地の確保のめどは立っていません。

私は、予算特別委員会で、区民事務所を以前のように民間のビル等に移転させ、集会所機能を元々あった現在の区民事務所に戻す方針に変更してはどうかと提案。区は「様々な可能性を考える」と答弁。さらに、私は、現在西荻窪駅前の改築中のビルでテナントを募集しており、区民事務所の移転先候補としてあたってみてはどうかと質問。区は「情報収集につとめる」と答えました。

文化施設の整備を求める

杉並区には、区ゆかりの作家や美術家が多数いながら、文学館も美術館もありません。私は、この間、こうした実態を告発し、貴重な文化的資源を保全し区民の鑑賞の場を拡充することを求め続けてきました。

全国では、文化・芸術を地域振興の重要なツールと位置づけ、文化施設の整備を集客や観光促進の観点からも重視する傾向が強まっています。杉並区としても、こうした観点に立ち、文化施設の整備を進めることを求めました。区は「美術館の建設となると難しい。ウェブミュージアムでそれを補完している」などと答弁しました。

私は、旧若杉小学校の本格活用の検討にあたって、文化的施設の配置も含め、住民との協議を進めることを求めました。